

三條南ロータリークラブ週報

Sanjo Minami Rotary Club



出席率

会員50名中38名

先々週の出席率

85.71%(3/3)



会長挨拶

三條南ロータリークラブ会長

草野恒輔

こんにちは。

県央基幹病院基本構想がまとまりました。先回の救急システムの崩壊と少しではありますが、経過を追ってお話をしたいと思います。

県内には100万人に対して1施設という旧来よりある3次救命救急センターが4施設あります。この3次救急に1・2次の救急患者さんが殺到し、重症患者さんの治療が出来なくなり、機能不全に陥ってしまいました。そこで、国は人口30万人を目途に2次医療圏（病院群）を区分けし、1施設のみ、新型救命救急センターを建設することにしました。

県央医療圏は5市町村、人口約23万人から構成され、県内に7つある2次医療圏の中の一つです。

新型救命救急センター、通称、2.5次救命救急センターは、まず、新発田病院で稼働し、魚沼で県立病院群の合併により建設が始まっています。次は県央です。県央のセンターが動き始めれば、国の定める救急体制が出来上がります。

県央で何故、早い段階で、救命救急センターが出来なかったかといえますと、2次医療圏の再編の際、13あった医療圏は当初、6つになったのです。高橋前市長以下県央の各行政・医師会が県に要望し、県央医療圏が追加され、7つに変更されました。そんな経緯がある為、救命救急センターの話が出るのが遅くなったのです。

もう一つ、遅くなった原因は某市長の抵抗でした。

2次医療圏復活にご尽力していただき、強い味方と尊敬しておりました。ところが、会議では救命救急センターを某市に持っていく為に政治の世界の論理を振りかざしました。せめて医療の世界だけは、県と県央の行政そして医師会と共に一体化して行動して頂いていれば、早期実現が計られたと今でも悔しい思いです。

四つのテスト

一言行はこれに照らしてから—

- I 真実かどうか
- II みんなに公平か
- III 好意と友情を深めるか
- IV みんなのためになるか どうか

ロータリーを
実践し



みんなに
豊かな人生を

国際ロータリー会長 ロンD. バートン [アメリカ]

第2560地区ガバナー 山崎 堅輔 [中条]

第4分区分AG 鈴木 守男 [三條東]

会長 草野 恒輔

幹事 平松 修之

S A A 齋藤 嘉一

事務局 〒955-8666 三條市旭町2-5-10

三條信用金庫 本店内

TEL 0256-35-3477 FAX 0256-32-7095

E-mail info@sanjo-minami.jp

URL http://www.sanjo-minami.jp

某市長という他にも幾つか思い出されることがあります。応急診療所建設前に高橋前市長と共に県庁に泉田知事を訪問し、2.5 次救急のみを扱う単独型施設か一泊のみできる 1.5 次救急施設を国と検討して全国モデルとして作ってもらえないかと相談をかけました。アメリカのテレビドラマにもなっている ER の日本版です。医師不足のなか、当然、県当局単独では実現困難な話ですので、国とも検討をしますということで終わったのです。ところが、何処でどう某市長に伝わったのか、1 次救急の応急診療所の建設と同時に、あの建物は入院施設を後付して ER にしてしまうつもりだから協力するなと厳命したそうです。その真意は病院または救命救急センターを某市に設置できなくなるからです。利益誘導できないことが余程腹立たしいのでしょう。そのあと議会では、患者さんで溢れかえっている応急診療所を宵の口診療所と悪口の言い放題。加茂医師会は設立会議当初より参加し、多くの加茂市民が診療を受けておられるのにいまだ、加茂の救急車は横付けされず、建設負担金は払わずという次第です。そうそう、全体会議の席上で、「救命救急センターができれば、草野病院・三之町病院は潰れるのですよ」と脅しが入り、「ご心配には及びません。県央救急医療の危機の為、覚悟して会議に入っています」と返しました。某市長の発言時間は会議の 50% 程占めていました。

この手の話をしていくと、いくらでも時間が過ぎますので此処でやめて、本題に入ります。県央医療圏では病床規模 200~300 床程度の 7 つの病院が一般的な医療を提供しながら、2 次救急医療も担当しています。しかし、救急医療の核となる 3 次救急を扱う病院がないという課題がありました。この為、県央の全救急搬送件数の 15% ほど、1400 件程度が、新潟・中越 2 次医療圏に搬送されています。また、癌・心疾患などの高度・専門的医療についても他医療圏に依存する傾向が多くなってきています。併せて病院勤務医師が大幅に減少して。最悪の道をたどり始めました。今日はここまでにします。

今日も 2 句！ 腰よりも 口につけたい 万歩計
徘徊と 噂をされ 散歩止め

幹事報告

平 松 修 之 幹事

山崎ガバナー事務所より

①「米山カウンセラー研修会」開催のご案内

日 時 2014 年 4 月 5 日（土） 12:00~ 15:00
会 場 万代シルバーホテル 4F 千歳の間

※熊倉高志 米山奨学生カウンセラー 出席予定

②「2560 地区・歴代地区幹事会」開催のご案内

日 時 2014 年 6 月 7 日（土） 17:00~ 19:00
会 場 四季会館 饗香 （新潟市中央区）

※荏澤喜一郎 2008~09 年度地区幹事 出席予定

田上あじさいRCより「創立 20 周年祝賀会」開催のご案内

日 時 2014 年 4 月 27 日（日） 14:30~ 17:30
 *おもてなし 「クラブ会員による落語 2 席」 「ロータリー大喜利」
会 場 湯田上温泉 ホテル小柳

栃尾RCより 事務所移転のご案内

新事務所 〒940-0295 長岡市谷内 2-5-9 栃尾秋葉門前商工プラザ 2F 栃尾商工会内
 TEL 0258-52-4191 FAX 0258-52-4135
例会場 7~12 月：恵比仁 1~6 月：大覚

委員会報告

親睦・プログラム委員会

銅 冶 康 之 委員長

春の旬例会のご案内

* 日 時 2014 年 4 月 14 日（月）
 第①便 ゆったり温泉コース（入浴できます） 17:00 三条市役所前出発
 第②便 さっぱり宴会コース 18:00 三条市役所前出発

* 会 場 湯田上温泉 越後のお宿 わか竹 ☎57-2044

* 会 費 3,000円

* キャンセル 4月11日(金) 17:00 までにご連絡下さい。それ以降につきましては会費ご負担
いただきます。

春の旬例会記念ゴルフ大会 のご案内

しばらくお休みしておりました南クラブゴルフ同好会が今春、
春の旬例会を記念して活動を再開いたします。
下記によりゴルフコンペを行います。
奮ってのご参加をお願いいたします。

日 時 4月14日(月) 9:34スタート

大会会場 湯田上カントリークラブ

☎57-3040

・・・プレー後、旬例会会場「わか竹」に合流いたします。

ゴルフ同好会幹事
佐々木常行会員

ニコニコボックス

NIKO-NIKO BOX

～ 3月17日 17,000円
今年度累計 616,661円～

草 野 君 今日はやっと春の陽気です。週末に
コンペがあります。どうなるでしょうか？

平 松 君 昨日、ドイツから帰って来ました。
時差ボケでボツとしています。
幹事報告、読み違えないように注意
します。

坪 井 君 卓話の当番です。
私の出会った災害について思い出を
お話します。
思い当たる方は一緒に思い出して下さい。

西潟君、吉井君、渡邊(久)君

ようやく春らしい時節となりました。
坪井先生の卓話、楽しみにしております。

大溪君、佐藤(嘉)君、鈴木(囃)君、滝口君、
田代君、銅冶君、西巻君、野中君、船久保君

坪井先生、卓話ご苦労様です。
期待しております。

熊 倉 君 久しぶりのニコニコです。
BOXにご協力いただき、ありがとう
ございました。

Speech



卓 話

「私と災害」

坪井 正康 会員

「天災は忘れた頃にやって来る」と言ったのは確か、寺田寅彦だと思うが、最近は、忘れないうちにいろんな災害が次々に起き、各地あちこちで大変な被害が出ている。特に東北の地震、津波による復興には、まだ今後どれくらい時間、費用がかかるのか分からない状態である。

私はいま 76 歳。いろんな災害の経験を私なりにした、出会った。今日はその経験をさっと話してみたい。大分古いものもあり、皆さんと一緒に経験されたものも多いと思う。一緒に思い出して下さい。記憶違いのところはご容赦願いたい。

(1) 昭和 29 年 4 月 4 日未明、私が新潟高校 2 年に進級したばかりの春休み、原因不明の火災が発生し校舎が全焼してしまった。丁度春休みで私は旅行に出ていて、翌日そのことを旅先で知った。記録によると、4 日午前 3 時頃旧相撲部屋から出火し、2 時間半燃え続け校舎の 4 分の 3 を失ったとある。帰宅してから早速焼け跡を見に行ったが、私には殆んど全焼したように見えた。その後は新学期というのに勉強どころではなく、カバン、教科書の代わりに軍手と長靴持参でモッコや押し車で落ちた屋根瓦を運んだり、鉄屑を拾ったりの毎日であった。漸く授業が始まれば、仮設バラック教室で午前と午後に分れた二部授業であった。二部授業は 1 年半も続いたのだった。我々は 3 年の 2 学期になって漸く一部新築と成った校舎で授業を受けることが出来た。今だったら PTA が黙っていないだろうが、当時は誰からも文句もなかったようだ。こせこせしないのんび



りした時代だった。

(2) 翌 30 年 10 月 1 日夜半、今度は新潟市医学町の県庁教育庁（現新潟市役所）附近から大火災が発生した。「新潟大火」である。延焼時間約 9 時間、火は東仲通、営所通、征谷小路、西堀、古町、東堀、本町、上大川前、礎町をなめ尽くした。焼失戸数約 1,000 戸、被災世帯 1,200 という凄まじさだった。（新潟県医師会 50 年史）。当時高校 3 年生の私は、火元から約 1.5 キロ程離れた所に住んでいたが、夜中に叩き起こされた。その時窓から見た光景は空襲（見たことはないが）とはかくあらんと思う程、夜空が真っ赤に染まり見事でしばし見惚れていた。しかし、火はどんどん燃え盛り、我が家の屋根にも火の粉が飛んで来るようになり、現実に戻されてあわてて一生懸命バケツで水を屋根にかけ続けた記憶は鮮明である。幸い我が家一帯は類焼を免れた。翌日、焼け跡を見て廻ったが、まだ煙がくすぶり続けており、きな臭い臭いが充満していた。私はただ呆然と立ち

つくすしかなかった。

(3) 昭和 38 年 1 月、世に云う「三八豪雪」である。大学卒業の年、私は卒業試験を終え三条の実家に帰っていた。1 月 12 日から降り始めた雪はその後も止むことなく、1 月 30 日にはついに積雪 4.4m を記録した。交通手段はすべてストップ、積もった雪は屋根より高く、道路から 2 階の屋根に落ちてケガをしたとか、電信柱の頭に腰掛けてひと休みとか信じてもらえないような話が沢山生まれた。家の中にいるとまわりの雪で夜か昼か分からない。どんなにまわりの雪が多くなっても屋根の雪を雪上げだか雪掘りだか分からないが処理をしなければならぬ。まわりの雪はどんどん高くなっていく。くる日もくる日も雪と格闘していたことを思い出す。まだ消雪パイプもない時代弥彦線の線路、五十嵐川が雪の捨て場所で、激甚災害法が発令され、自衛隊員が毎日除雪作業をしていた。交通手段が十分でないから新鮮野菜、医薬品などが当然不足した。母がたまたまテレビのインタビューを受け何が一番困るかと聞かれ、トイレの汲み取りが来ないのが一番切ないと答えてしまい、あとで家の者皆で「なんでトイレの話なんか」と笑ったけれど、本当に水洗の普及していない頃で切実な問題ではあった。あとで知ったことであるが、三条地方が県内で一番積雪量多かった由である。これは皆さん、経験された方が多いと思う。

(4) 翌 39 年 6 月 16 日、新潟国体が終わったばかりの新潟市をマグニチュード 7.5、震度 5 の大地震が襲った。「新潟地震」。私が第二内科に入局した年である。丁度、お昼時で教室では図書館で恒例の昼食抄読会が行われていた。グラグラッと大きな揺れが来た。「地震だ！」と叫びながら我先に外へ飛び出した。私なんかパイパイの新入医局員であったから席は出入口近くの末席。真っ先に出られたが、出入口は一つで偉い先生方は奥まった席で避難するに大変であったと思う（人のことを考える余裕なんかない）。木下教授は机の下にもぐってしまわれたと後で人に聞いた。外に出てみたら昭和石油のガスタンクが爆発炎上し、一瞬原爆でも落ちたのかと錯覚するような黒い雲がもくもくと高く上がっていたのが印象に残っている。その日はなんとか下宿に帰ったが、電気もガスも水道もストップし、一夜真暗闇の中で飲まず食わずを経験した。下宿にも帰れなかった先生方は、病棟当直室を寝ぐらにして救援物資で食をつないでいた。食事時になると、当直室から出て来て、食べ終わるとまた部屋に戻る、まるで動物園の猿みたいだなどと言われた人もいた。1 日おいて新潟大学で救護班が組まれ、私も第二内科から山ノ下の避難所での一泊救護に参加した。大学の救急車に乗って行ったのであるが、東港線には油を大量に含んだ津波が上がっていてその中を水上車よろしく突破して行ったものだから、その救急車は大量の油を巻き込みそのまま廃車となった。翌日どうやって帰って来たかは憶えていない。

(5) 昭和 42 年 8 月 28 日からの未曾有の豪雨によって下越北部の各河川、荒川、胎内川、加治川などが軒並み氾濫した。「羽越大水害」である。私はまたも今度は関川村へ救護班として派遣された。交通網がズタズタに寸断されていた為、自衛隊のジープで運ばれた。道路は本当にガタガタ凸凹になっていて何かに掴まっていないとふり落とされそうであった。昔の早駕籠もかくやと思われた。川の氾濫は凄く、私が見た荒川温泉郷の湯沢温泉は潰滅していた。旅館や民家が水と泥で完全に押しつぶされていたのである。避難所の関川村中学校では、下痢、発熱、虫さされ、切り傷、不眠なんでも診た。帰りの新潟へは今度はヘリコプターに寄せられた。途中孤立した部落に救援物資を落としながら、ドアを開けたまま飛行するのであるが、高所恐怖症である私は恐かったし、風が強く吹き込み風邪をひいてしまった。さすが自衛隊員は慣れたもので開いたドアの所に腰をかけ足を外に出してブラブラさせながら乗っている。変に感心した。ジープといい、ヘリコプターといい、なかなか出来ない経験をさせてもらった。

(6) 平成 16 年 7 月 13 日の五十嵐川、刈谷田川氾濫による「7. 13 水害」。数日来の豪雨で五十嵐川が増水した。堤防が切れるかもしれないという情報が流れた。もの好きな上に危機意識の薄い能天気な私は川岸まで見に行った。どんどんと濁流が流木などを押しながらすごい勢いで流れていく。足元まで水が来ている。情報が現実となってついに午後 1 時 15 分、五十嵐川の南側が破堤した。ここに於て、五十嵐川上流には 2 つのダムがあり、絶対に三条では洪水は起こらないという神話もろくも崩れた。私の家は、北側だったので被害に遭うことはなかったがもう数分南側が持ちこたえたら間違いなく北側がやられていた。運というものをつくづく感じる。当クラブでも被災された方々が沢山おられ、大変なご苦労をなされたと思うが、その詳細について被災しなかった私など語

る資格はない。ただ、社会福祉協議会会長という立場にあった為、いろんな災害対策に立ち合ったり、ボランティアの活動のすばらしさをつぶさに見聞させてもらった。暑い中、愚痴も言わずに黙々とスコップをふるう若きボランティアの方々、中学生から老人まで自分の出来る範囲で救援物資を送ってくれる人など、何とか人のためになろうという人達がこんなにも沢山いると知って、日本もまだまだ捨てたものではないと目頭が熱くなった。

(7) 水害後いくらしもない10月23日、今度は「中越地震」である。三条もだいぶ揺れたが幸い被害は少なかった。長岡市の状況や友人、先輩の被害現場を見て新潟地震よりずっと被害はひどいと思った。ここでも私には云々する資格はない。山古志村などの山側の被害のひどさについてはテレビ、新聞などの報道で知った(その1か月前、同級会を蓬平温泉でやったばかり、その蓬平温泉全滅)。後日、長島山古志村村長(現衆議院議員)の話を聞く機会があった。お聞きしながら被害のすごさに改めて驚くと同時に長島村長の人柄のすばらしさに感銘を受けた(長島村長は確か、大湊先生と高校で同級と聞いている)。

(8) 中越地震からいくらしもない19年7月の「中越沖地震」。三条でも大いに揺れたが、被害はそれほどでなかったのでホッとしていたら、次々と報道で柏崎方面の被害のひどさがはっきりして来て暗澹たる気持ちにさせられた。柏崎の親戚、友人など皆やられた。

(9) そして、最後に今回の東北の大災害。地震と津波被害と放射能災害まで付くという最悪のシナリオ。これはあまりに最近で生々しく、私などがとやかく言う資格は全くない。現在まだ進行形である。

以上、私の経験したいろんな災害を振り返ってみた。その都度、私にとっては貴重な体験をさせてもらい、その思い出は私の胸にしっかりと生きている。しかし、これをどう生かして行くかなどと大それたことは出来る筈もなく、出来ることといえばせいぜい、こんな事があったのだ 程度のお話をするくらいである。

ご清聴ありがとうございました。

バン記者が走る

クラブ会報委員取材記録

進

最初に國定市長が挨拶され、若いアクトの皆さんに期待していますという内容であった。山崎ガバナリーのピンチヒッターとして出席された佐々木エレクトは、会員減少の中心で頑張っている、今年度は83名から90名と努力が実っているとのお褒めの言葉があった。そして、

ロータリーアクト地区大会が三条RACをホストクラブとして、三月八日、三条市(ジオ・ワールドV.I.P.)で開催された。草野会長が急遽当直医の調整がつかず、私が取材を兼ねて代理に出席させていただいた。

大会のテーマは「進」、高い目標に向かって挑戦し続けることへのアクトの思いが込められている。

いつかは必ずロータリーに入会して下さいとの結びであった。アクト地区代表の如澤さんの若人らしく元気が漲った挨拶は、聞いてとても気持ち良かった。各クラブの活動報告がなされたが、やはり人数が少ないため活動が制限されているのは否めない現状のようである。因みに、白根RAC5名、三条14名、長岡東10名、新発田16名、新潟15名、新潟南8名、高田14名、新井8名となっている。

清々しく活動を続けている彼らにエールを送り続けたいと思ったのは私だけではないと思う。

本大会、福島、山形、群馬と県外からも多くのアクトーが参加していたのには驚いた。地区の今年度のターゲットは「つながり」とのこと、人と人とのつながりを大切に奉仕の輪を広げ、積極的な活動が展開されることに期待したい。

(野中 記)



Sunday	Monday	Tuesday	Wednesday	Thursday	Friday	Saturday
2014 4	3/31 ◆南 RC クラブ休会	4/1 ◆北 RC 「雑誌月間」 山中 正 雑誌委員長	2 ◆三条 RC パストガバナー 中條 耕二 様 (三条RC 第27代会長)	3 ◆東 RC 「雑誌月間」 井上正栄 会報 ・雑誌委員長	4	5 D 米山カウ セラー研修会 於：万代 シルバーホテル
6	7 ◆南 RC 「ショート スピーチ」	8 ◆北 RC 卓話 (株)北澤不動産 鑑定所 代表取締役 北澤 利江 様	9 ◆三条 RC 卓話 (株)玉川堂 七代当主 玉川 基行 様	10 ◆東 RC 卓話 (有)藤兵衛工房 代表取締役 山田 宏高 様	11	12 D 地区研修 ・協議会 於：小千谷市 総合体育館
13	14 ◆南 RC 「旬例会」 ①17:00 市役所前出発 ②18:00 市役所前出発 於：わか竹 ◇南RC 「旬例会記念 ゴルフ大会」 於：湯田上 CC	15 ◆北 RC 「地区研修・ 協議会報告」	16 ◆三条 RC 「旬例会」 於：嵐溪荘 ※記帳が できます	17 ◇東 RC 「観桜会」 於：加賀苑 ※記帳が できます	18	19 中条胎内 RC 20 周年 記念式典 於：中条 グランド ホテル
20	21 ◆南 RC クラブ・ フォーラム 「地区研修 ・協議会報告」	22 ◆北 RC ～23 日 親睦移動例会 石川県山代温泉 ※記帳が できます	23 ◆三条 RC 「地区研修 ・協議会報告」	24 ◆東 RC 「地区研修 ・協議会報告」	25	26
27 田上あじさ い RC 20 周年 記念式典 於：ホテル 小柳	28 ◆南 RC 卓話 長谷美津明会員	29 昭和の日 ◆北 RC 休 会	30 ◆三条 RC クラブ休会 ※記帳が できます		28	29

*近隣RC例会変更のお知らせ

- 加茂RC 4月 3日(木)、17日(木) 花見例会
- 燕 RC 4月17日(木) ⇒ 16日(水) 合同観桜会
- 吉田RC 4月18日(金) ⇒ 16日(水) 合同観桜会
- 分水RC 4月22日(火) 40周年記念夜例会

記帳場所

加茂産業会館 2F
 燕三条ワシントンホテル
 山岸会計事務所
 丸信商会 2F

ときを超えて
 あの日の一枚

鈴木 武 会員

あれから〇〇年を過ぎ、体型に変化が...
 妻は「詐欺にあった」と。お互い様！

三條南ロータリークラブ週報

2014. 3. 17

No.2111 No.29